

プリント & カット 操作ガイド

この度は、プリンタカッター TPC-1000 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
プリンタカッター TPC-1000 と、カッティングソフトウェア【FineCut】・【Simple Studio】、ソフトウェア RIP【RasterLink】を組み合わせると、簡単にシールやステッカーの作成ができます。

まず、確認してください。

シールやステッカーを作る前に、TPC-1000 やお使いになるアプリケーションの準備が必要になります。まず最初に、次の準備をしてください。

システム構成の説明 (P. 2)

プリント & カットをするためのシステム構成を説明します。

TPC-1000 を準備する (P. 3)

電源の入れ方やメディアのセット方法など、TPC-1000 の準備について説明します。

アプリケーションを準備する (P. 7)

お使いになるアプリケーションの準備について説明します。
アプリケーションソフトのインストール方法については、それぞれの説明書をご参照ください。

シール / ステッカーを作ってみましょう。

TPC-1000 やお使いになるアプリケーションの準備ができれば、添付の CD に入っているサンプル画像を使ってシールを作ってみましょう。

Illustrator (FineCut) を使う場合 (P. 10)

Illustrator のプラグインソフト [FineCut] を使って、シールやステッカーを作る方法を説明します。

SimpleStudio を使う場合 (P. 12)

SimpleStudio を使って、シールやステッカーを作る方法を説明します。

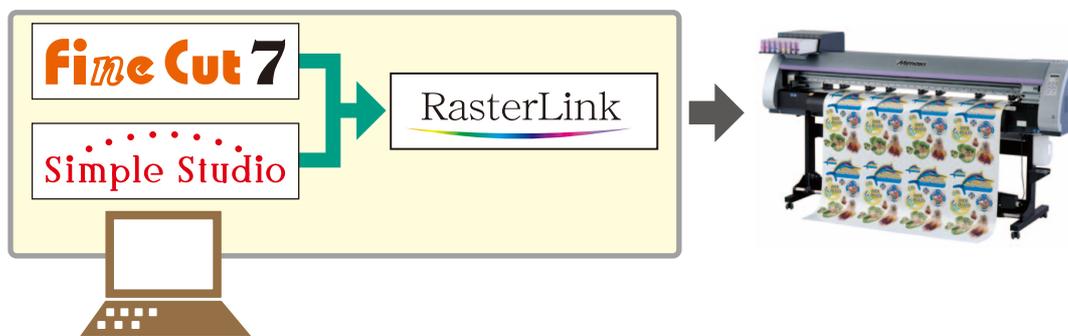
添付の RasterLink でプリント & カットする (P. 16)

まず、確認してください

システム構成の説明

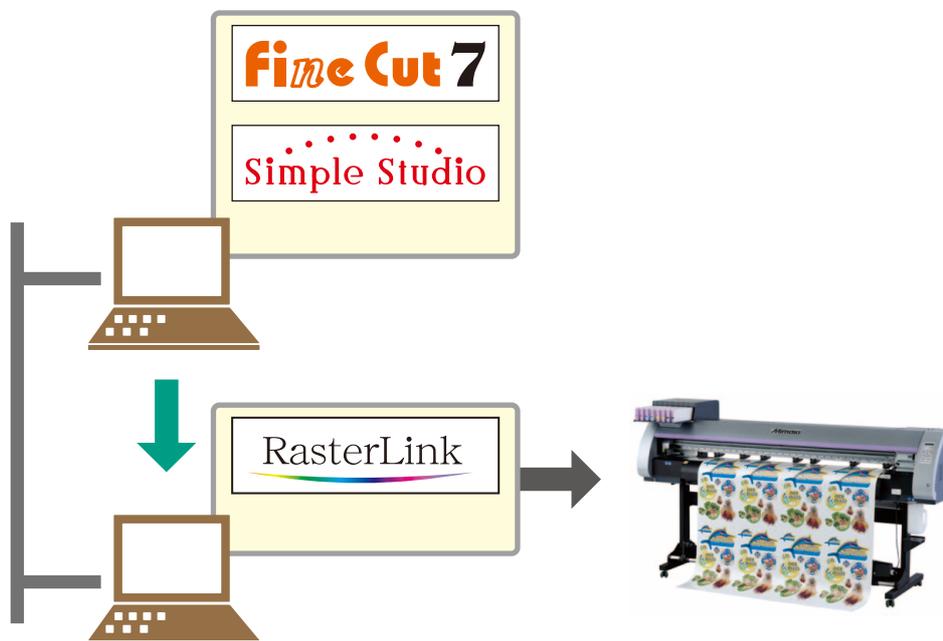
illustrator (FineCut) または SimpleStudio で作成したプリントデータとカットデータを添付の RasterLink へ送り、添付の RasterLink から出力を行います。

● PC が 1 台の場合のシステム構成例



Illustrator(FineCut) または SimpleStudio で作成したデータを、添付の RasterLink から出力します。

● 複数の PC をネットワークで接続している場合のシステム構成例



Illustrator(FineCut) または SimpleStudio で作成したデータを、ネットワーク上の添付の RasterLink がインストールされている PC へ送り、添付の RasterLink から出力します。

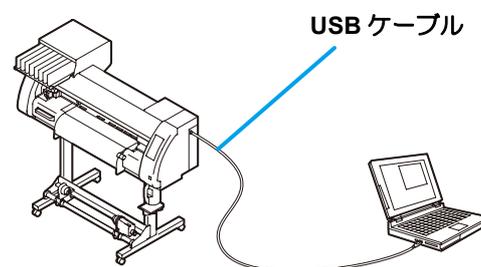
TPC-1000 を準備する

次の手順に従って、TPC-1000 の準備をしてください。

● TPC-1000 に添付の RasterLink がインストールされた PC を接続する

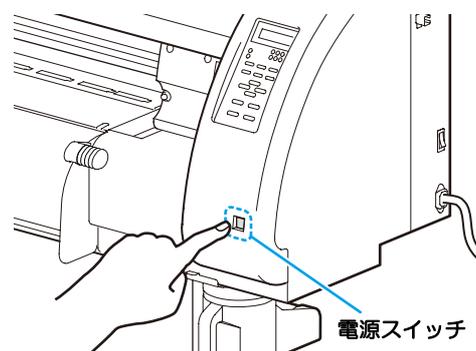
1. 添付の RasterLink がインストールされた PC と TPC-1000 を接続する

- 詳しくは、[TPC-1000 の取扱説明書 P.1-12 ~ 13](#) を参照してください。



2. TPC-1000 の電源を入れる

- 詳しくは、[TPC-1000 の取扱説明書 P.2-8 ~ 9](#) を参照してください。



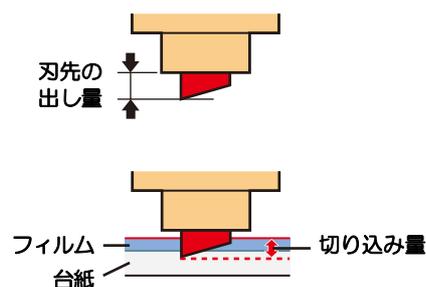
3. カッター刃を取り付ける

- 詳しくは、[TPC-1000 の取扱説明書 P.2-10 ~ 12](#) を参照してください。

- (1) カッター刃をカッターホルダーに取り付ける
- (2) 使用するカッター刃やメディアの種類に応じて、刃先の出し量を調整する

$$\text{切り込み量} = \frac{(\text{フィルムの厚さ} + \text{台紙の厚さ})}{2}$$

- ただし、フィルムの厚さ < ベース紙の厚さ のとき

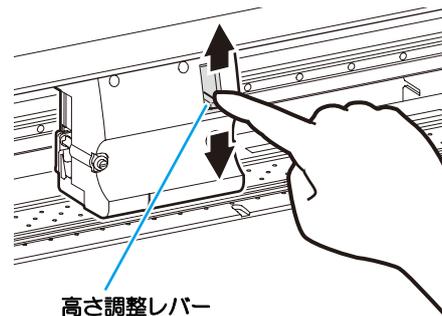


- (3) カッターホルダーをツールホルダーに取り付ける
- (4) カット条件の設定およびテストカットを行い、切れ具合を確認する

4. メディアをセットする前に、次の項目を確認する

- (1) プリントヘッド高さの確認：
詳しくは、[TPC-1000 の取扱説明書 P.2-15](#)

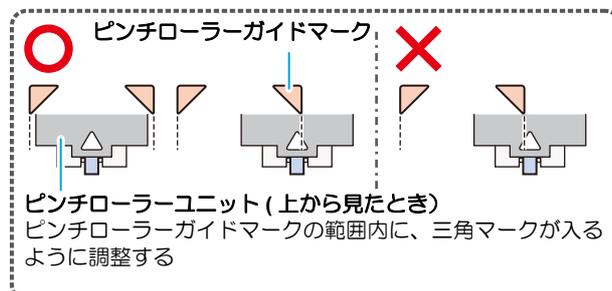
高さ調整レバーは、お使いになるメディアに合わせて、調整してください。詳しくは、[TPC-1000 の取扱説明書 P.2-16「調整レバーとレンジについて」](#)をご参照ください。



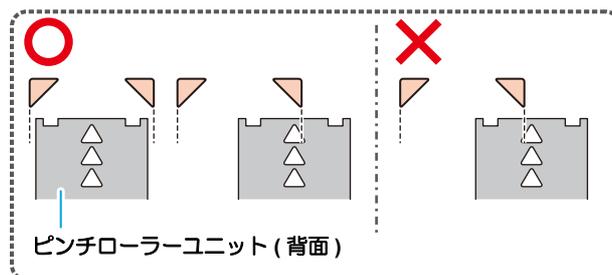
高さ調整レバー

- (2) ピンチローラーの位置調整：詳しくは、[TPC-1000 の取扱説明書 P.2-17](#)
ピンチローラーユニットを移動させて、ピンチローラーの位置を調整します。
ピンチローラーガイドマークを目安にしてください。

前面から合わせるとき

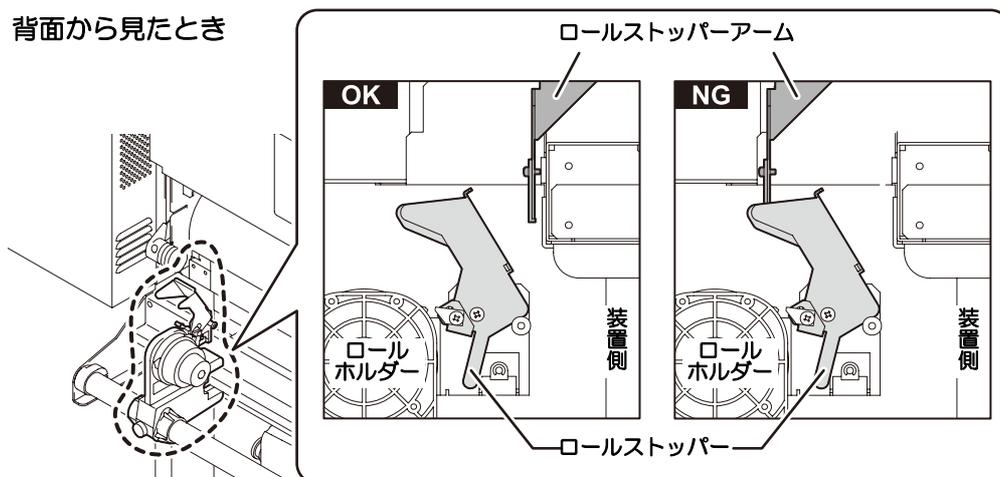


背面から合わせるとき



- (3) ロールストッパーの位置確認：詳しくは、[TPC-1000 の取扱説明書 P.2-19](#)

背面から見たとき

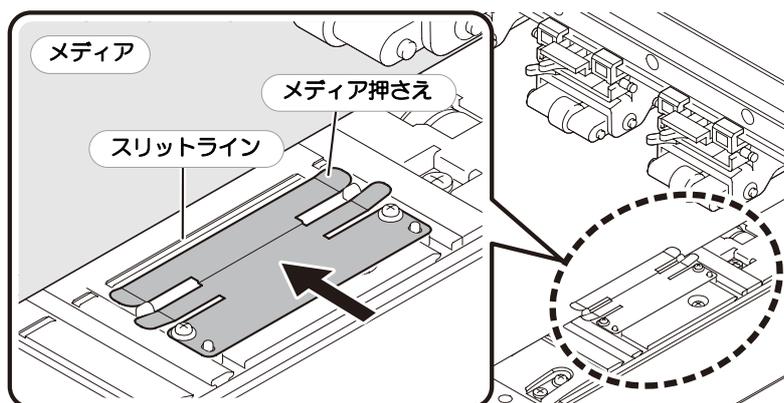


- ロールストッパーアームはクランプレバーに連動して動きます。ロールストッパーアームと本体の間にロールストッパーが入り込んだ状態で、クランプレバーを下げないでください。ロールストッパーアームを破損し、ロールストッパー機能が使用できなくなることがあります。

- (4) メディアのセット位置に関する注意事項：詳しくは、[TPC-1000の取扱説明書 P.2-21](#) プラテン上のスリットラインを超える位置にメディアをセットしないでください。



- プラテン上のスリットラインを超える位置にメディアをセットすると、メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。

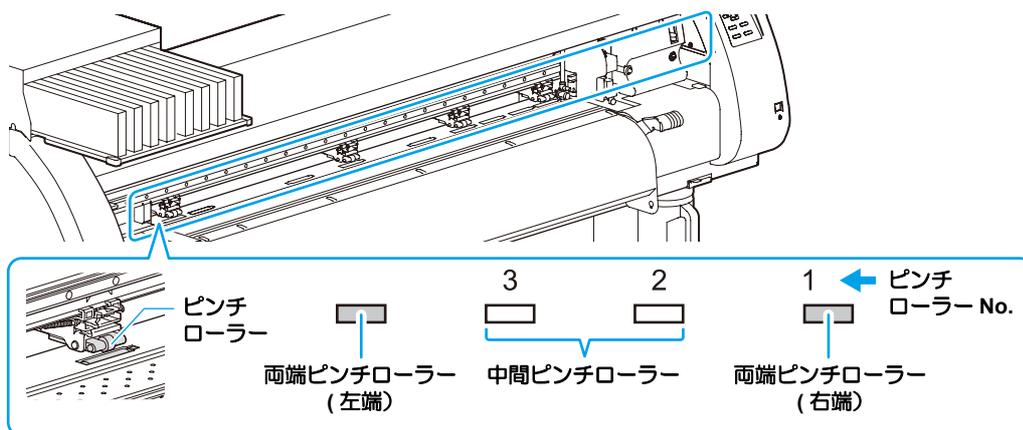


5. メディアをセットする

- ロールメディアをセットする場合：[TPC-1000 取扱説明書 P.2-22 ~ 25](#)
- リーフメディアをセットする場合：[TPC-1000 取扱説明書 P.2-28 ~ 29](#)
- クランプレバーを下げると、ピンチローラー設定画面に移行します。ピンチローラーの設定については、下の表をご参照ください。



ピンチローラー圧の設定についての推奨値



使用モード	設定圧力	用途
プリント時	両端：Middle 中間：Middle	標準使用時
	両端：High 中間：Low	メディアに残るピンチローラー跡を小さくしたいとき • メディアの種類 / 送り量 / メディア幅により、メディアがずれる場合があります
カット時	両端：High 中間：High	標準使用時
	両端：High 中間：Low	メディアに残るピンチローラー跡を目立たなくしたいとき • メディアの種類 / 送り量 / メディア幅により、メディアがずれる場合があります

メディア幅	カット時に使用するピンチローラー
600mm 未満	両端のみ
600 ~ 1030mm	両端+中間ピンチローラー 1 個

6. テストプリントを実行する

- ・ノズル詰まりなどの吐出不良がないか、確認してください。
- ・詳しくは、[TPC-1000 の取扱説明書 P.2-32 ~ 33](#) を参照してください。

7. テストカットを実行する

- ・刃先の出し量やカット圧が適切か、確認してください。
- ・詳しくは、[TPC-1000 の取扱説明書 P.2-34 ~ 35](#) を参照してください。

重要! プリント & カットを行う場合の注意点を以下に記します。

1. トンボ付データを作成する際にはいくつかの制限事項がありますので、ご注意ください。
詳しくは、TPC-1000 の取扱説明書 P.4-7 ~ 11 を参照してください。
2. 巻取装置を使用する場合は、トルクを弱めてください。
トルクが強すぎる場合、プリント & カットでプリント終了後にカット開始位置へメディアを引き戻す際に、トンボ位置まで戻らない場合があります。
詳しくは、TPC-1000 の取扱説明書 P.2-26 ~ 27 を参照してください。
3. 巻取装置を使用する場合、プリントまたはカットが完了した部分が床に付かないようにするため、プリント&カットを繰り返すメディアの送り方向の長さを約300mmまでとしてください。
4. プリント & カット後に自動でメディアを裁断 (オートカット) する場合は、裁断したメディアのプリント面同士が付着しないように注意してください。
プリント後に乾燥時間を入れることを推奨します。乾燥時間は、使用されるメディアや環境・プリント密度により異なります。
5. 添付の RasterLink を使用する場合は、TPC-1000 の「トンボ検出の設定」で“1 テン” に設定してください。
設定方法は TPC-1000 の取扱説明書 P.4-12 ~ 13 を参照してください。
6. 「巻取タイミングの設定」を OFF 以外にしていると、オートカットを実行しません。
詳しくは、TPC-1000 の取扱説明書 P.4-41 ~ 42 を参照してください。
7. ヒーターの設定について、プリント時は各メディアに適した値に設定してください。
カット時はヒーターを OFF にしてお使いになることを推奨します。
カット時のヒーター設定は、添付の RasterLink で行います。(P. 16「添付の RasterLink でプリント & カットする」手順 1- (3))
8. カット時に OFF になったヒーターは、以下のタイミングでプリント時のヒーター設定に復帰します。
 - ・プリントデータ受信時
 - ・TPC-1000 の [MODE CHANGE] キーでプリントモードにした後、[HEATER] キーを押したとき
 - ・添付の RasterLink からヒーター温度設定をしたとき

アプリケーションを準備する

プリント & カットをするために、必要なアプリケーションの準備ができているか確認してください。

● 添付の RasterLink の準備をする

1. 添付の RasterLink のインストールを確認する

- インストールがされていると、PC のデスクトップ上に右のアイコンが表示されます。
- インストールについては、[添付の RasterLink のインストールガイド](#)をご参照ください。



2. TPC-1000 との接続を確認する

- (1) TPC-1000 の電源は ON になっていますか？
- (2) 添付の RasterLink がインストールされている PC を TPC-1000 に接続していますか？

3. 添付の RasterLink でプリンタの登録をする

- TPC-1000 でプリント & カットをするため、添付の RasterLink にプリンタの登録が必要です。
- すでにプリンタの登録をしている場合は、この操作は不要です。手順 4 へ進んでください。

- (1) [スタート]メニュー-[すべてのプログラム]を選ぶ
- (2) [Mimaki RasterLinkPro***] をクリックし、
[プリンタ管理] を選ぶ



- (3) プリンタ管理ダイアログが表示されたら、
[追加] をクリックする



- (4) プリンタの情報を設定する
 - モデル名 : TPC
 - カラー : 装置に合わせて選択
 - 出力ポート : USB2.0
 - 接続可能プリンタ : TPC-01 を選択
 - プリンタ名 : プリンタの名称を入力
(ここで入力した名称の Hot フォルダが自動的に作成されます。)
- (5) [OK] をクリックする
 - 確認画面が表示されます。
[はい] をクリックすると、プリンタの登録を
始めます。

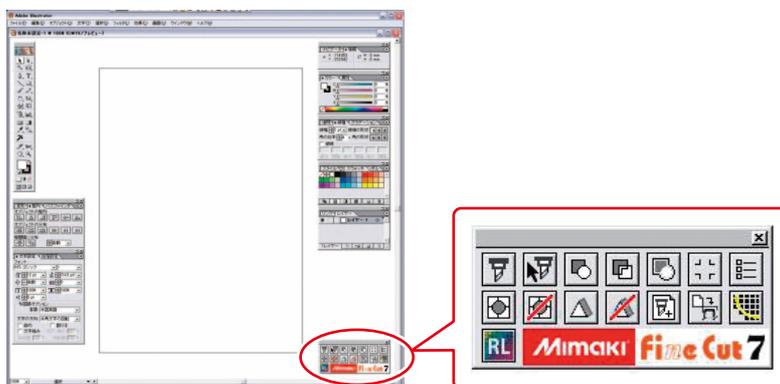


● FineCut の準備をする

1. Illustrator を起動する

2. FineCut メニューを表示していることを確認する

- FineCut が正しくインストールされていると、FineCut メニューが表示されます。
- インストールについては、[FineCut の取扱説明書 1章 インストール](#)をご参照ください。



FineCut メニューが表示されない場合

Illustrator の [ウィンドウ] メニューから [FineCut メニューを表示] (Illustrator10 以上をお使いの場合は [Mimaki FineCut]) を選択してください。

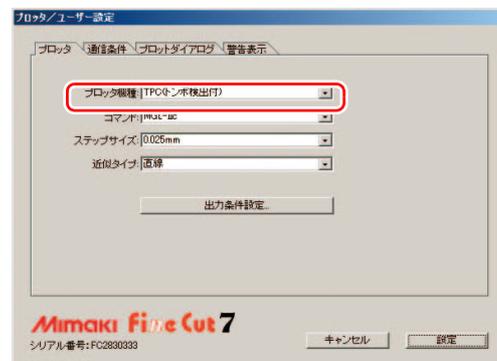
3. FineCut メニューの [プロッタ/ユーザー設定] ボタンをクリックする

- プロッタ/ユーザー設定画面を表示します。



4. プロッタ機種として [TPC] を選択する

- 詳しい設定方法は、[FineCut の取扱説明書 4章 「プロッタ/ユーザー設定」画面](#)をご参照ください。
- 続けてシール/ステッカーの作成をする場合は、[P.10 「Illustrator \(FineCut\) を使う場合」](#)へ進んでください。



- FineCut をインストール後、最初に FineCut 機能を実行すると次のようにシリアル番号とパスワードの入力ダイアログが表示されます。
 1. シリアル番号入力のダイアログで、CD-ROM が入っているジャケットに記載されているシリアル番号を入力し、[OK] をクリックする
 2. 弊社ユーザー登録係より取得したパスワードを入力する ([FineCut の取扱説明書 1章 「ユーザ登録とパスワードの取得」](#)をご参照ください。)

● SimpleStudio の準備をする

1. SimpleStudio のインストールを確認する



- インストールがされていると、PC のデスクトップ上に右のアイコンが表示されます。
- インストールについては、[SimpleStudio の取扱説明書 Chapter1](#) をご参照ください。

2. をダブルクリックして、SimpleStudio を起動する

- SimpleStudio をインストール後、最初に起動したときは、次の操作をしてください。
 - (1) プロダクトキーを入力するダイアログが表示されます。SimpleStudio の CD ケースにあるプロダクトキーを入力してください。
 - (2) [プロッタ設定]ダイアログを表示します。[OK] をクリックしてください。



- SimpleStudio から直接カットを行う場合は、プロッタ選択をする必要があります。[SimpleStudio の取扱説明書 P.56](#) をご参照ください。
 - 続けてシール / ステッカーの作成をする場合は、[P.12 「SimpleStudio を使う場合」](#)へ進んでください。
-

シール/ステッカーを作ってみましょう

TPC-1000 取扱説明書の CD に入っているサンプル画像を使って、シール/ステッカーを作成してみましょう。

Illustrator (FineCut) を使う場合

- 重要!** ・必ず、[P.2～P.7](#)の「**まず、確認してください**」を確認してから、シール/ステッカーの作成をしてください。

1.  をダブルクリックして、添付の RasterLink を起動する
- ・添付の RasterLink のメインウィンドウが表示されます。

2. TPC-1000 取扱説明書の CD をディスクドライブにセットする

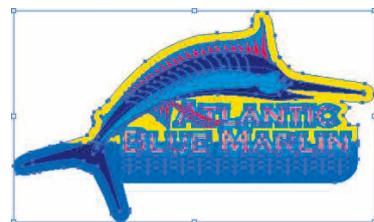
3. [プリント & カット マニュアル/サンプルデータ] をクリックする



4. “sample1.eps” をダブルクリックする

- ・自動的に Illustrator が起動し、“sample1.eps” を開きます。

5. 画像をクリックする



6. FineCut の [フレーム抽出] ボタンをクリックする

- ・ [フレーム抽出] ボタンで、カットラインの作成をします。



7. フレームの大きさを設定する

- ・イラストの周りに付けるフレーム (カットライン) の大きさを設定します。
- ・フレームの設定について、詳しくは [FineCut の取扱説明書 P.3-36](#) をご参照ください



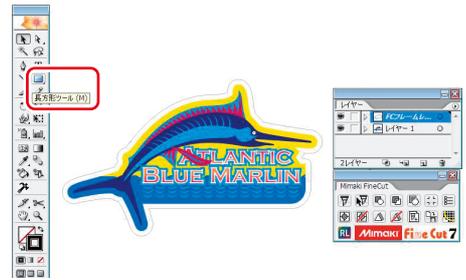
8. [OK] をクリックする

- ・“FC フレームレイヤー” にフレーム (カットライン) が作成されます。
- ・フレーム (カットライン) を作ったら、次に、シール/ステッカーをカットするときの目安となるトンボを作成します。



9. Illustrator の“長方形ツール”でトンボの枠を作る

- トンボ付データを作成するにはいくつかの制限事項があります。 **TPC-1000 の取扱説明書 4-7 ~ 11** を参照して作成してください。



10. FineCut の [トンボ作成] ボタンをクリックする

- トンボ作成ダイアログを表示します。



11. [OK] をクリックする

- “FC トンボレイヤー” にトンボが作成されます。



12. FineCut の [Raster Link へ出力] ボタンをクリックする

- 「Raster Link 出力」ダイアログボックスが表示されます。



13. [ホットフォルダ選択] をクリックする

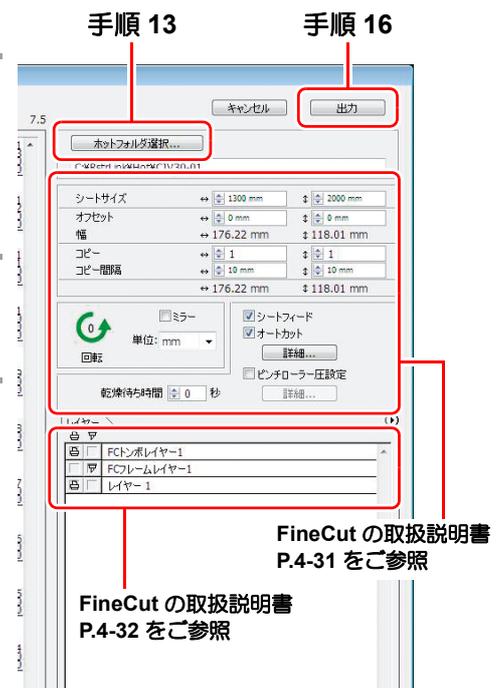
14. TPC のホットフォルダを選択する

- [RasterLinkPro*]-[Hot] の中から、 **P. 7 「添付の RasterLink の準備をする」** で作成したフォルダを選択します。

15. プリントレイヤー/カットレイヤーの確認や各種設定内容の確認を行う

16. [出力] → [OK] をクリックする

- 各種設定については、FineCut の取扱説明書をご参照ください。
- プリントデータとカットデータが添付の RasterLink に送られます。
- Illustrator を終了してください。
- 続けて、添付の RasterLink での作業が必要です。 **P.16 「添付の RasterLink でプリント & カットする」** へ進んでください。



SimpleStudio を使う場合

- 重要!** ・必ず、P.2～P.7の「**まず、確認してください**」を確認してから、シール/ステッカーの作成をしてください。

1.  をダブルクリックして、添付の RasterLink を起動する

・添付の RasterLink のメインウィンドウが表示されます。

2. TPC-1000 取扱説明書の CD をディスクドライブにセットする

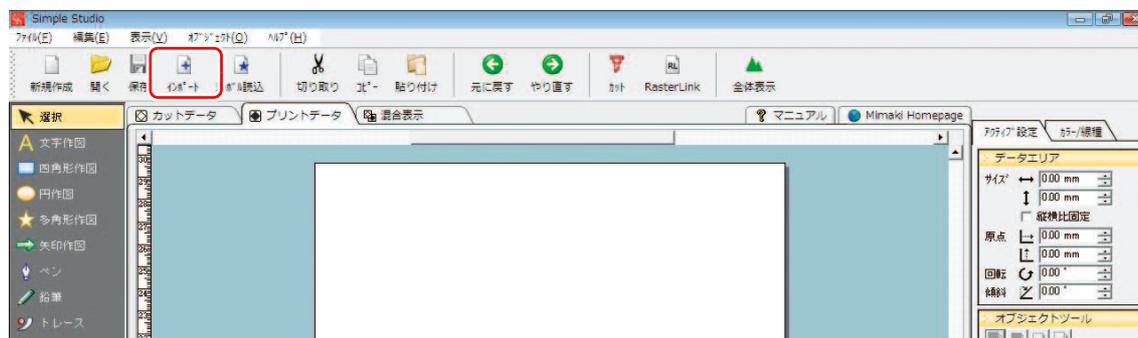
3. [プリント & カット マニュアル/サンプルデータ] をクリックする



4. “sample3.jpg” をデスクトップにコピーする

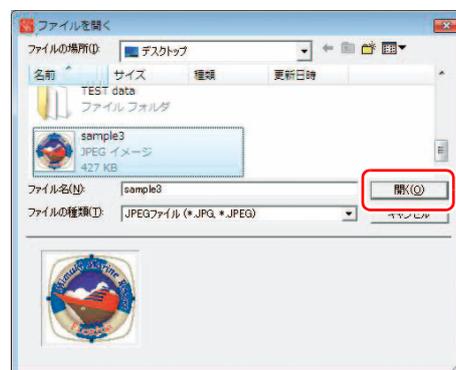
5.  をダブルクリックして、SimpleStudio を起動する

6. 「プリントデータ」タブを開き、インポートをクリックする

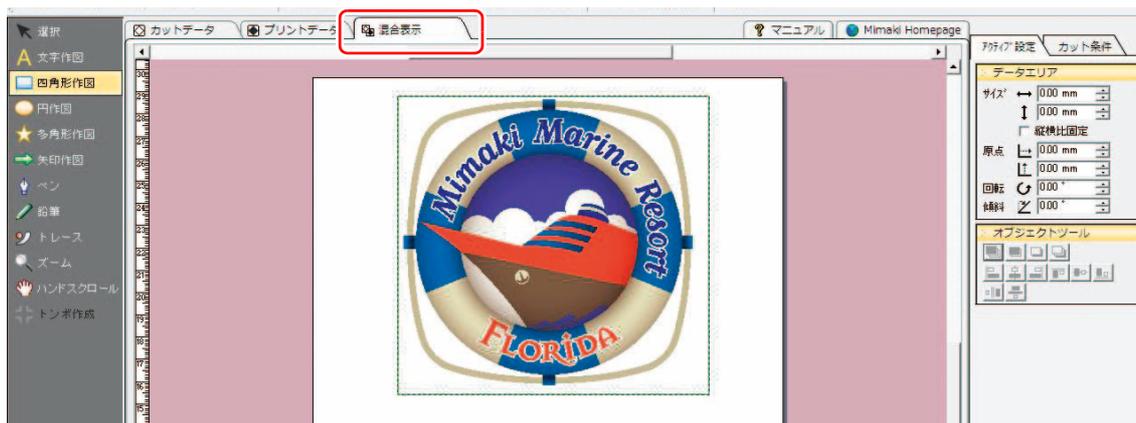


7. デスクトップにコピーした “sample3” を選択し、[開く]をクリックする

・[ファイルの種類]を“JPEG”にしてください。



8. 「混合表示」タブを選択し、四角形作図ツールを使って任意の四角形を作る



- ここで作った四角形がフレーム(カットライン)となります。四角形は[カットデータ]タブに自動的に反映されます。
- フレーム(カットライン)を作ったら、次に、シール/ステッカーをカットするときの目安となるトンボを作成します。

9. 手順8で作った四角形をプリントデータにコピーする

- トンボを作成するための目安となるように、手順8で作ったフレーム(カットライン)をプリントデータ上にコピーする必要があります。
- (1) [混合表示]タブで四角形を選択し、右クリックする
 - (2) [プリントデータに変換]-[コピー]を選ぶ



10. 「プリントデータ」タブを開き、トンボ作成ツールをクリックする

- トンボ付データを作成する際にはいくつかの制限事項があります。 [TPC-1000の取扱説明書 P.4-7 ~ 11](#) を参照して作成してください。

11. 手順 8 で作った四角形を囲むようにして、トンボ範囲を決定する

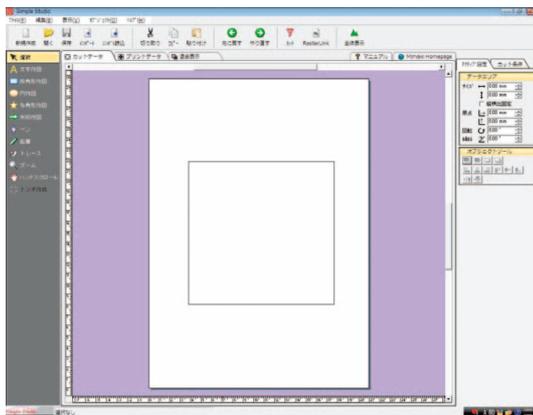


12. 「プリントデータ」タブにコピーした四角形を削除する

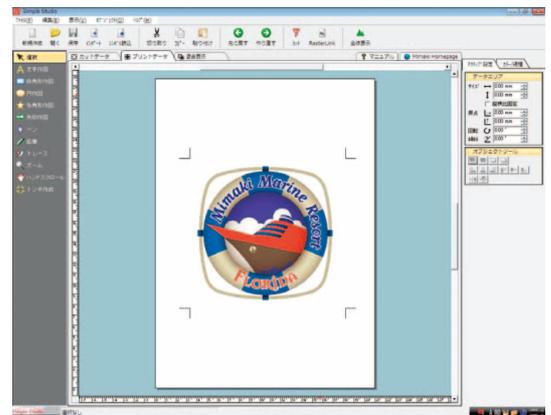
・四角形をプリントしたい場合は、この手順は必要ありません。そのまま手順 13 へ進んでください。

- (1) 手順 11 で作成したトンボを選択する
- (2) 右クリックし、[アレンジ]-[最背面]を選ぶ
- (3) 手順 8 で作った四角形を選択し [Delete] キーを押して削除する

13. 「カットデータ」タブ / 「プリントデータ」タブの内容を確認する

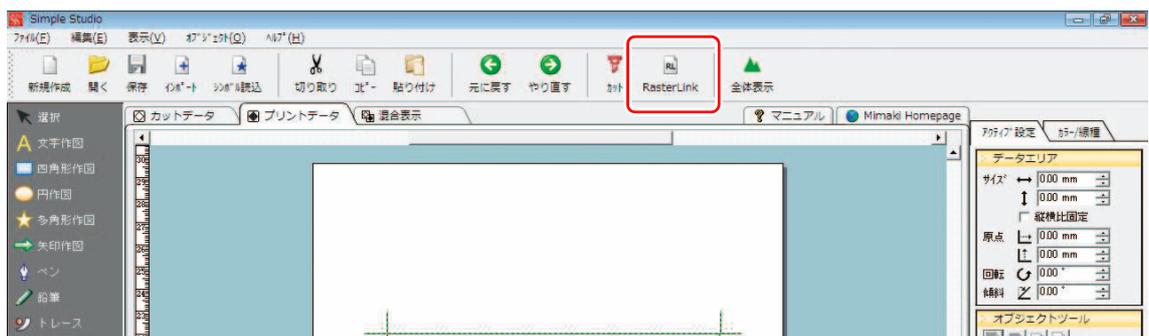
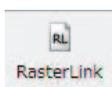


< カットデータ >

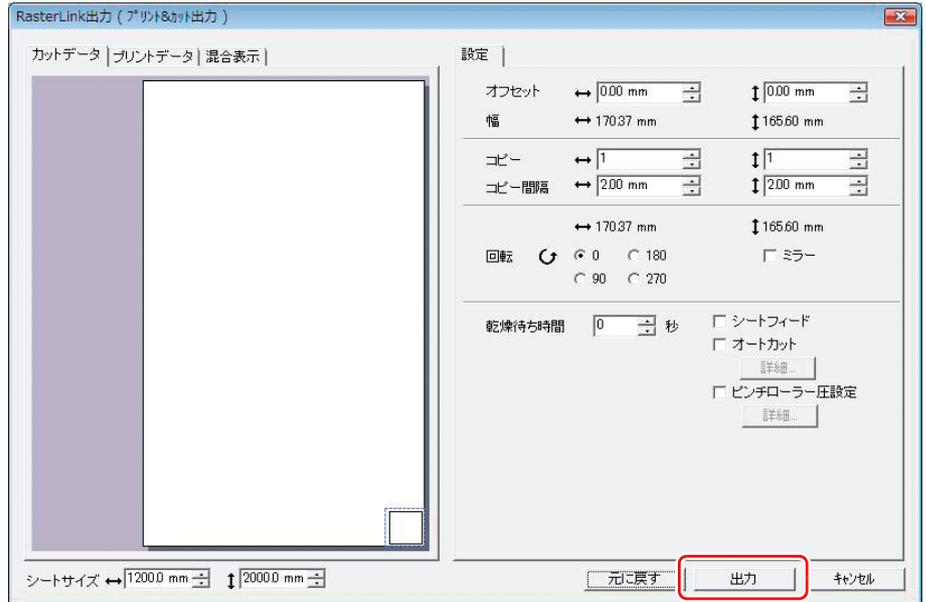


< プリントデータ >

14. [Raster Link] をクリックする



15. [出力]をクリックする



16. TPC のホットフォルダを選択する

- [RasterLinkPro*]-[Hot] の中から、[P. 7 「添付の RasterLink の準備をする」](#) で作成したフォルダを選択します。



17. [OK]をクリックする

- プリントデータとカットデータが添付の RasterLink に送られます。
- 出力が終わったら、SimpleStudio を終了してください。
- 続けて、添付の RasterLink での作業が必要です。[P.16 「添付の RasterLink でプリント & カットする」](#)へ進んでください。

重要!

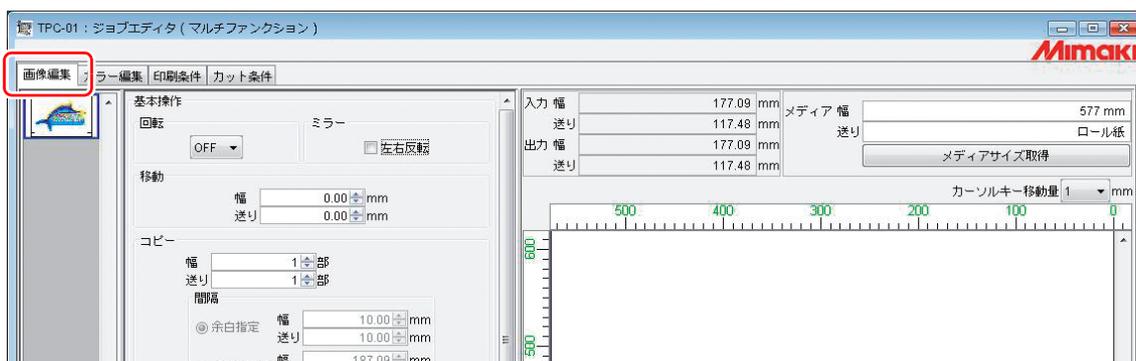
- サンプル画像以外の画像をインポートしてお使いになる場合、カラーモードが RGB になっている画像をインポートしてください。CMYK の画像をインポートすると、SimpleStudio で正常に表示できなくなります。

添付の RasterLink でプリント & カットする

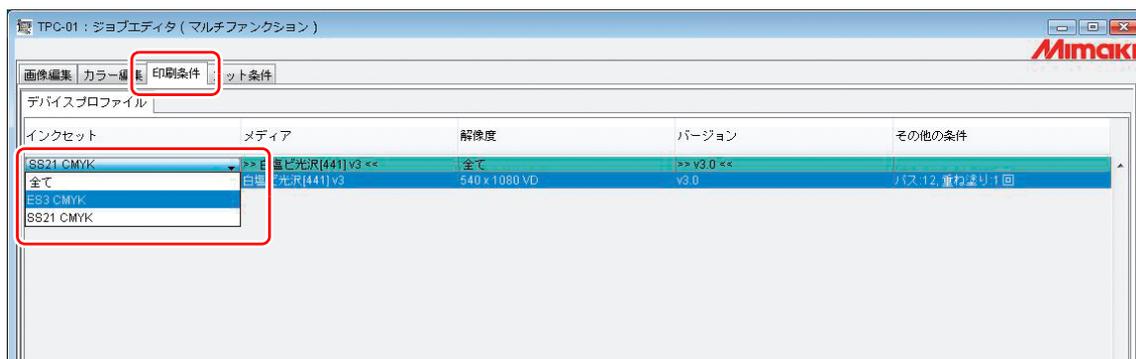
1. 添付の RasterLink のメインウィンドウで、プリント & カットするデータをダブルクリックする

- ・ジョブエディタが表示されます。次の各項目をご確認ください。
各項目で設定をする場合、詳しくは、添付の RasterLink のリファレンスガイドをご参照ください。

(1) 「画像編集」タブをクリックし、コピーなどの操作をする



(2) 「印刷条件」タブをクリックし、TPC-1000 にセットしているインクに合わせたプロフィールを選択する



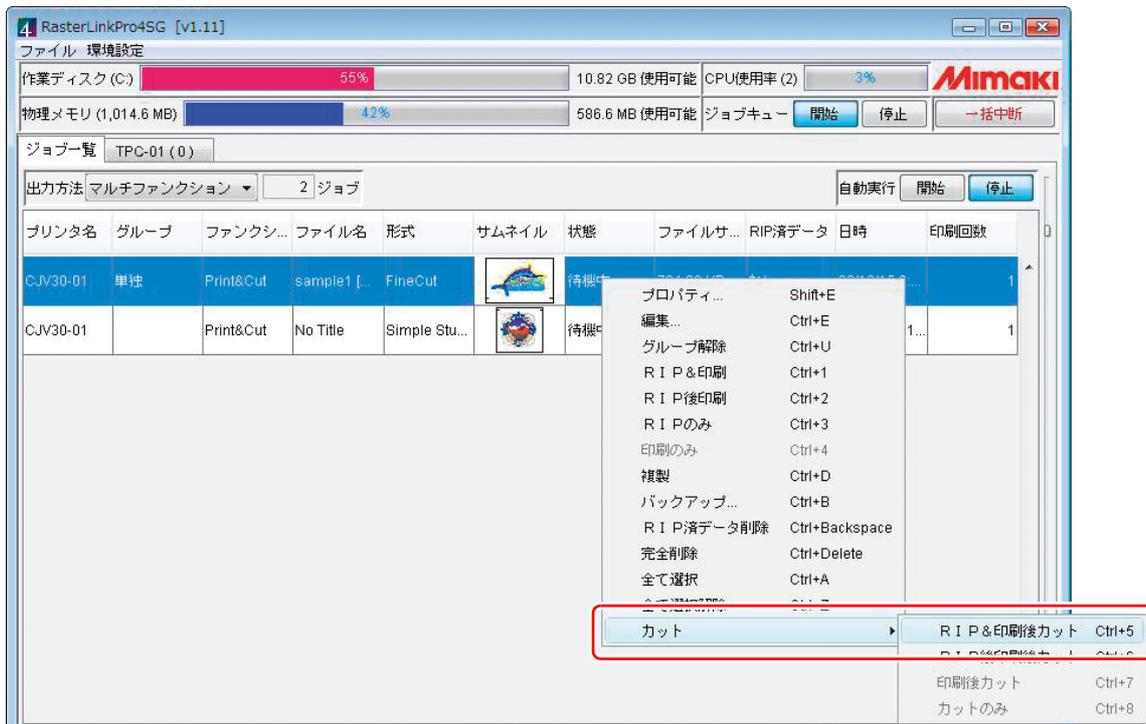
(3) 「カット条件」タブをクリックし、シールをカットするときに必要な設定をする



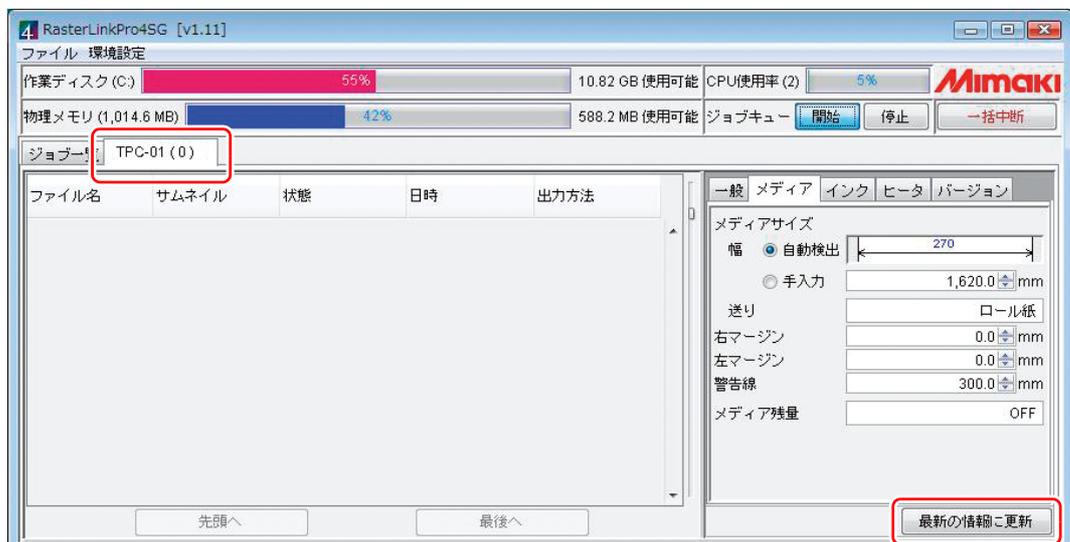
(4) 必要な設定が完了したら [OK] をクリックする

2. プリント & カットを実行する

- (1) プリント & カットするデータを右クリックする
- (2) [カット]-[RIP & 印刷後カット] を選ぶ



- TPC-1000 でメディアを変更したときは、次のようにしてください。
 1. メインウィンドウで「TPC-01」タブを選択
 2. 「メディア」タブを選択し[最新の情報に更新]をクリックする



- FineCut や SimpleStudio で出力の指定をするだけで、プリント & カットをすることができます。メインウィンドウの“自動実行”で[開始]を選択してください。



Mimaki